



# 林業福島

No. **674**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫



ふくしまから  
はじめよう。  
Future From Fukushima.

**10** 2020

監 修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 美 し き 秋



# 林業・木材製造業の 労働災害防止に向けて

林業・木材製造業労働災害防止協会

福島県支部長 平 子 作 麿

当林業労働災害防止協会福島県支部の業務運営につきまして、平素よりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、普段どおりの活動ができない状況下、三密の回避などソーシャル・スタンダードを踏まえた各種講習会を開催しております。

平成三十二年二月に伐木作業等の安全対策の規制が変わり、新たな特別教育による初の講習会を八月に開催しました。これまでの内容に加えて切創災害を防ぐ手段として義務付けられた防護衣の説明やターニングストラップとチルホールによるかかり木のはずし方の実技、追いヅル伐りの作り方の実演、カッターの連結・切り離し実演など工夫を凝らした講習会としました。また、旧特別教育修了者に対する補講習も、この一年間で約三、〇〇〇名強の方々が受講されましたが当面の間継続して実施することになっております。

今年は、ナラ伐倒時の裂けあがりによる激突死亡事故等労働災害が多数発生しております。

当協会支部では、労働災害防止対策として、次の取組を実施しております。

一、伐採現場の安全巡回指導（県内七方部で一年を通して実施）

二、「改正チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」の研修会（中・浜・会津三方部で十一月に開催）

三、蜂アレルギー抗体検査、巡回による振動障害特殊健診の実施

四、リスクアセスメント導入のための出前指導（木材製造業に対し随時）

当協会の講習会開催案内と併せ、ホームページをご覧いただき関係者多数の受講、参加をお待ちしております。



チルホールを用いたかかり木の外し方の実技

## 《も く じ》

### とびら

林業・木材製造業の労働災害防止に向けて

林業・木材製造業労働災害防止協会

福島県支部長 平 子 作 麿……………1

令和2年度『情報交換会』を開催しました ……2

林業研究センターだより……………3～4

特集「震災十年」⑦

仮設住宅の再利用が創る新たな絆…5～6

令和3年度福島県予算編成に対する要望聴取会 ……7

普及指導員通信……………8

森林管理署メモ……………9

木連だより……………10

木の文化を育む⑱……………11

木材市況・ふくしま東西南北……………12

はなしのひろば・お知らせコーナー……………13

# 令和二年度

## 『情報交換会』を開催しました

### 福島県森林土木建設業協会

令和二年九月九日（水）、福島市の福島テルサにおいて、福島県森林土木建設業協会令和二年度情報交換



会を開催しました。

当協会は、森林土木事業に関する諸課題について、発注者の県と情報交換・意見交換を行うことを目的に、例年、この時期に情報交換会を開催しています。

近年、これまでに例を見ない規模の台風や集中豪雨の発生により、森林は甚大な被害を受けています。社会的・経済的な損失を低減するとともに森林整備を推進するために、災害の未然防止と早期復旧、さらには林業生産基盤の整備を担う森林土木事業の役割はますます重要になっています。

しかし、福島県における農林水産部公共事業の入札では、執行件数の約一五%が不調となつている実態があります。発注する側と受注する側の考え方の違いを明らかにして課題を解決し、森林土木事業を執行することで県土の保全や森林の整備を願う、この思いは発注者も受注者も同

じです。

今年度は、発注者側の県から、岡部広承森林保全課長、酒井雄二農林技術課主幹兼副課長、北條武男森林整備課副課長兼主任主査に参会していただき、当協会からは菅家会長を初めとして十二人の役員が参会し、情報交換や意見交換が活発に行われました。

意見交換に先立ち、福島県森林保全課、農林技術課、森林整備課から、福島県の森林土木事業を巡る現状と課題について説明がありました。

森林保全課からは今年度の治山関係事業の概要、特に海岸防災林の復旧状況を、農林技術課からは今年度の農林水産部公共事業の執行状況を、森林整備課からは林道事業の概要と林道施設災害の復旧状況などが説明されました。

次いで、予め当協会会員の意見をとりまとめた『意見・要望集約表』を元に意見交換が行われました。

会員から提出された意見・要望は主に次のとおりで

した。

- ・ 入札（時期・規模・方法・不調の原因等）に関する事
- ・ 発注者の設計、積算、歩掛等に関する事
- ・ 発注者と現場監督員との連携・コミュニケーションに関する事
- ・ 技術者の育成や確保に関する事
- ・ 森林整備関連事業に関する事

的確な発注のためにいろいろな規則や制度が定められています。しかし、一つとして同じ現場はありません。発注者と受注者が情報を持ち寄ることで規則や制度と実態との乖離を認識し、かつ、その幅を小さくしていくことで、今後より良い工事の施工を目指したいと考えています。

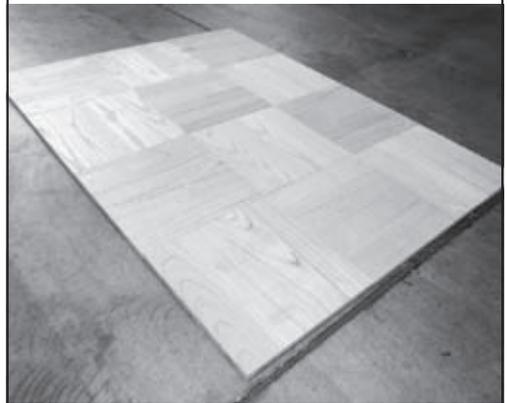


菅家洋一会長挨拶



林業研究センターだより

令和元年度の  
「普及に移しうる成果」と  
「放射線関連支援技術情報」



キリ・スギ・スギクロスパネル

林業研究センター企画情報部

林業研究センターでは、東日本大

震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、通常の課題に加えて、放射性物質関連課題の研究も行っていきます。これらの課題の成果については、毎年「普及に移しうる成果」と「放射線関連支援技術情報」として福島県農業振興課のホームページで公表されています。令和元年度は、通常課題について「普及に移しうる成果」二課題、放射性物質関連課題については「放射線関連支援技術情報」六課題の成果を取りまとめました。ここでは、これらの概要についてお知らせします。なお、詳細については、福島県農業振興課ホームページをご覧ください。

一、令和元年度普及に移しうる成果

キリとスギの複合クロスパネルの性能評価

スギ製材ラミナには一定程度の低質材が含まれます。また、断熱性に優れたキリ材は、フローリング材として利用されていますが、蓄積量が減少しています。このような状況の中でキリの端材とスギ低質材を活用した複合クロスパネルによりマンションなどのコンクリート床に直張りするフローリング材を試作しました。その結果、

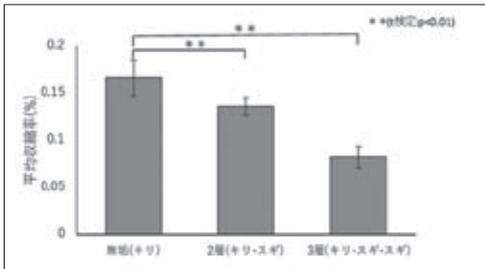


図-1 クロスパネルの幅方向の平均収縮率



図-2 玉植苗

一層目にキリ、二層目にスギ、三層目にスギの構成のクロスパネルでは、接着性能は日本農林規格の基準を満たし、無垢材に比べて寸法安定性が高くなりました。(図-1)

形質良好で凍雪害・獣害に強いキリ「玉植苗」を開発

キリ植栽当初に多くの労力が必要となる凍雪害・獣害への対策の省力化を図り、成長がよく高品質の材の生産が期待できる玉植苗を開発しました。玉植苗は、四〇センチのポットで生育後地上部を切除した苗で、植栽時に地上部が無いことから植え付け時の獣害・凍雪害の防止措置が不要で、初期成長が良いことから枝下高の長い材の生産が可能になります。(図-2)

二、令和元年度放射線関連支援技術情報

原木ナメコ露地栽培における敷材による<sup>137</sup>Cs汚染低減効果

昨年度までの結果から、敷材によりほだ木を汚染された土壌から離すことでナメコ子実体への放射性物質汚染が軽減できる旨報告しました。継続調査を実施したところ、「パレットとマット」「赤玉土と不織布」または「鹿沼土と不織布」を敷くことにより三年目においても従前と同様の傾向が確認されました。

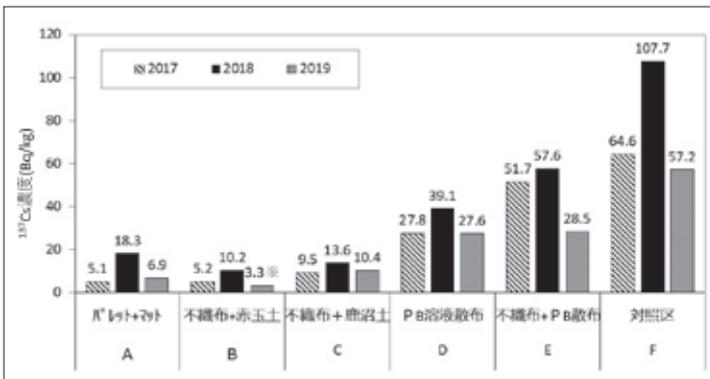


図-3 敷材別のナメコ子実体の<sup>137</sup>Cs濃度 (含水率95%換算濃度) ※N.D. だったため検出下限値を子実体の<sup>137</sup>Cs濃度とした

赤玉土や鹿沼土を使用することで、ほだ木を地伏せした場合と比べて<sup>137</sup>Csによる汚染は十分の程度に軽減することができました。(図-3)

### ワラビの<sup>137</sup>Cs移行係数について

県内四地区のワラビ生育地のワラビ地上部を採取して<sup>137</sup>Cs濃度を求めるとともに、土壌を採取し土壌深度毎の<sup>137</sup>Cs濃度と面移行係数を調査しました。その結果、土壌深度毎の<sup>137</sup>Cs濃度は地表近くで高い濃度を示しました。一方、面移行係数については、調査地間でばらつきが大きくなりました。(図-4)

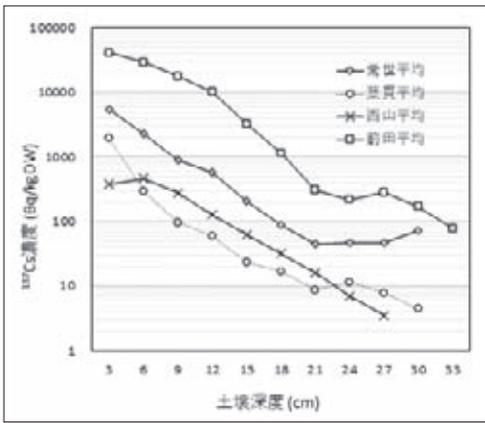


図-4 土壌の<sup>137</sup>Cs濃度深度分布

### 木工用電動ドリルを利用したコナラ材部濃度の推移調査の試み

コナラ等の広葉樹は放射能汚染に

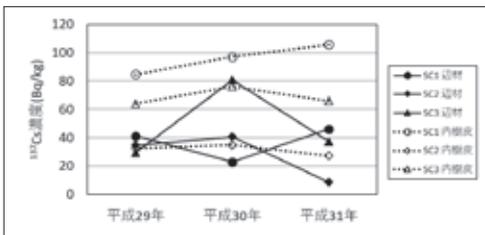


図-5 辺材と内樹皮の<sup>137</sup>Cs濃度の推移

よりきのこ用原木として利用できない地域があり将来の利用再開が望まれています。コナラの放射能汚染濃度の推移を予測するためには、材部の汚染推移を把握するためには、材部を把握するため、木工用電動ドリルを用いて同一個体の材部を経年的に採取することで、濃度推移を把握する方法を試みました。その結果三年間の濃度推移を把握することができました。(図-5)

### 斜面位置におけるコナラ植栽木の放射性セシウム移行係数の違い

コナラをきのこ用原木として安全に利用するためには、放射性セシウムがコナラに移行する要因等を明らかにする必要があります。そこで、

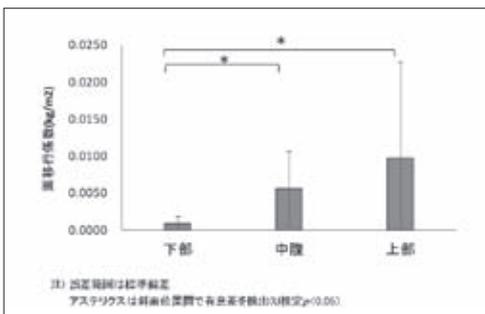


図-6 斜面位置ごとの土壌からのコナラ葉への移行係数

同一斜面の位置別にコナラ苗木を植栽し、面移行係数を算出しました。その結果、斜面位置によりコナラへの放射性セシウムの移行のしやすさが異なる可能性が示されました。(図-6)

### カリウム施肥によるコナラ苗木へのセシウム移行抑制効果について

農業では、水稲等へのセシウム吸収抑制対策として、カリウム施肥がすでに広く行われ、コナラ等樹木への適用が期待されています。そこで、放射性セシウムを含む森林土壌に入れたポットにコナラ苗木を植栽し、カリウム施肥の効果を検討しました。その結果、カリウム施肥量が多くなると葉中の<sup>137</sup>Cs濃度は低く、ばらつきは小さくなりコナラ苗木へのセ

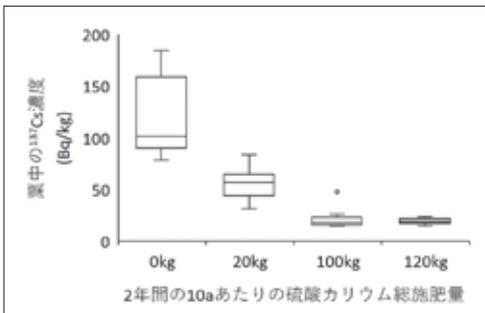


図-7 硫酸カリウム施肥総量と葉中の<sup>137</sup>Cs濃度の関係  
箱中の横棒は、中央値を示す。箱、ヒンジおよび○は、それぞれ25~75%、5~95%信頼区間および外れ値を示す。



図-8 オートサンプラー付きNaI(Tl)シンチレーションカウンター

シウム吸収抑制効果が確認されました。(図-7)

オートサンプラー付きNaI(Tl)シンチレーションカウンターのよる土壌資料測定の可能性について  
森林環境における放射性物質の動態把握のためには、長期間のデータ蓄積が必要ですが、サンプルの調整や測定に要するコストが課題となつてきています。そのため、多数の試料を連続して自動定量できるオートサンプラー付きNaI(Tl)シンチレーションカウンターの活用を検討しました。その結果、ゲルマニウム半導体検出器と比較しても高い相関性が確認され、試験研究への活用が可能であることがわかりました。(図-8)

特集「震災十年」⑦

# 仮設住宅の再利用が創る新たな絆

滑田 崇志 (株式会社はりゅうウツドスタジオ)

二〇一一年東日本大震災の際に、福島県ではログハウスタイプの木造仮設住宅が約六〇〇〇戸建設されました。九年が経過した現在、その役割

が終わりをはじめ再利用の時期を迎えています。一般的に木造の応急仮設住宅は、プレハブ仮設に比べて再利用(リユース)のシステムがないとされています。そのため、福島県では、二〇一一年の建設時にも、再利用

利用できるような観点で提案を求めて公募をしています。ログハウス型の仮設住宅は、ログ材が構造材、仕上げ材、断熱材を兼ねるといふ部材

点数の少なさから、再利用の可能性が期待されていた構法でもありません。県内のログハウス関係者六社の

共同体によってログハウスの仮設住宅が施工されました。

県による買取りで整備した仮設住宅約一三、四〇〇戸(プレハブ協会分約六、六〇〇戸・地元公募約六、八〇〇戸)が再利用の対象とされました。県が制定した仮設住宅の再利用

制度としては「無償譲渡」と「解体入札」があり、基本的に前者が公共機関及び個人事業主、後者が建設業者を対象に行われます。

無償譲渡では、大平農村広場応急仮設住宅団地(二本松市)の一部を浪江町が「いこいの村なみえ」内一時宿泊所として整備したもの、同団地(二本松市)の一部を県外一般社団法人「石巻日本カーシェアリング協会」が宮城県石巻市に自社事業所

として整備したものの、飯舘村における「大師堂住宅団地」など六〇〇戸のうち約一割の六〇戸が再利用に至っています。

二〇一六年の熊本地震以降に、太平洋と東シナ海に挟まれた沖永良部島の和泊町(鹿児島県)の人達と縁が出来ました。沖永良部は、大規模開発ではなく小さな点をつないで魅力を作り出す観光を目指している島

です。その島民の皆さんが興味を示されたのは、ログハウス型仮設住宅を再利用した沖永良部型の環境住宅建設です。ログハウス建設に関わった、株式会社ダイテック鈴木裕一、株式会社はりゅうウツドスタジオ芳賀沼

整を中心、このプロジェクトを支援することとなりました。

過疎化が進む島に若者が集う場をつくり、発生から九年が経過した東日本大震災の記憶を伝える場所です。会津若松市の松長団地で約六年

間使われたログハウス型仮設住宅の解体資材で作られました。

島東部の和泊町中心部にある約一、七〇〇平方メートルの敷地に、カフェや美容室など四店舗が入るテナント

棟と、計八室を備えたコテージ型宿泊棟二棟が並ぶ施設が二〇二〇年の二月にオープンしました。木のぬく

もりを感じる客室からは、雄大な太

沖永良部仮設再利用プロジェクト



沖永良部仮設再利用プロジェクト

大師堂住宅団地 撮影 高橋業生

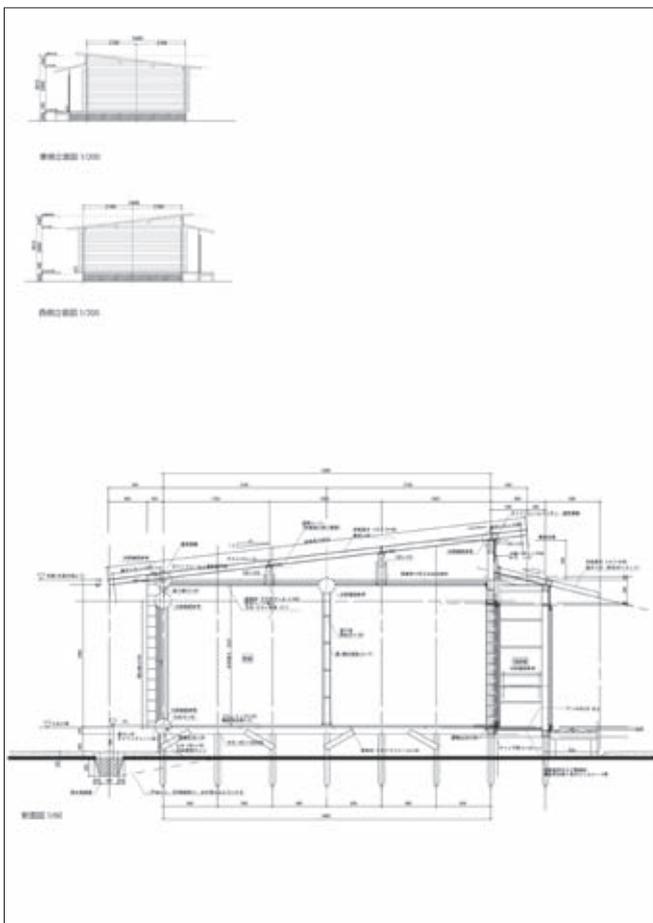
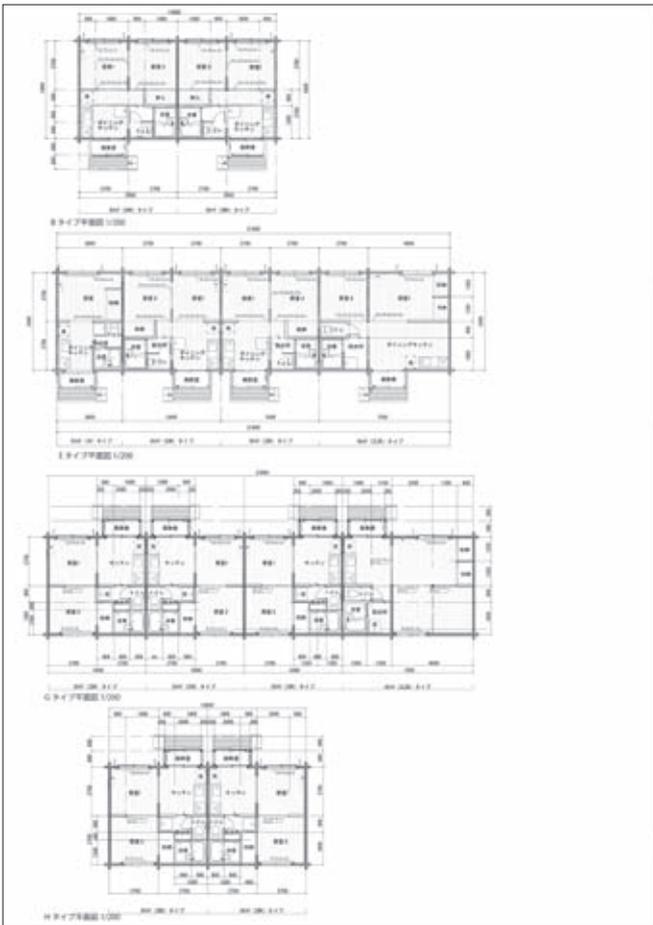


大師堂住宅団地 撮影 高橋業生

2011年ログ仮設建設時 撮影 藤塚光政



2011年ログ仮設建設時 撮影 藤塚光政



平洋が一望できます。  
 天井を高くしたり屋根の上に植物を植えたりと、新しい仮設住宅の活用を目指した一方、入居していた子どもが壁に貼っていたシールなど生活の痕跡を残した部分もあります。週末は町の若者や観光客でにぎわい、建物に触れて被災者に思いをはせる建物となりました。  
 当社の芳賀沼整はこの建物の完成を見ず、二〇一九年十二月に永眠しました。故人の意思を引き継ぎ、ログハウス関係者により、福島仮設の再利用のプロジェクトは続けられています。



本宮市 ログ仮設の様子 撮影 藤塚光政



自由民主党福島県議会議員会

復興の加速化を図り、森林を将来の世代に健全な姿で引き継いでいけるよう、表に掲げる十項目を要望しました。

県議会各会派からは「要望事項はしつかり受け止めた。実現できるような努力する。」との力強い回答をいただきました。

**【令和3年度福島県予算編成に対する要望事項】**

<b>1 第2期復興・創生期間における森林林業の再生への取組の継続</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしま森林再生事業や放射性物質動態調査の継続</li> <li>・安心できる県産材の供給に必要な経費への支援</li> <li>・きのこ生産資材の調達支援、きのこ原木となる広葉樹林再生などの継続 など</li> </ul>
<b>2 森林資源の循環利用促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な主伐・再造林促進のための支援制度拡充</li> <li>・公共建築物の木造・木質化、新用途・新技術の開発支援の拡充</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた木材生産への支援、木材需要拡大策の推進、林業・木材産業従事者の雇用確保 など</li> </ul>
<b>3 林業人材育成拠点の早期整備等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県林業人材育成拠点の運営のための組織体制整備</li> <li>・林業事業者の雇用管理や安全対策、福利厚生の実施 など</li> </ul>
<b>4 福島森林環境基金制度の継続</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な間伐や里山整備、森林資源の利活用、意識の醸成など、県独自の多様な取組の推進</li> </ul>
<b>5 森林づくりの推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしま植樹祭の開催支援</li> <li>・森林づくり指導者の養成と森林環境学習の推進 など</li> </ul>
<b>6 避難指示区域等の森林管理の具体的取組の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的で円滑な里山再生事業の実施</li> <li>・環境放射線モニタリング、実証試験の継続実施 など</li> </ul>
<b>7 森林経営管理制度における市町村等への支援強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村を支援する仕組み構築と実施</li> <li>・市町村、林業経営体のIT技術活用に向けた支援 など</li> </ul>
<b>8 森林の適正な整備に向けた支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良苗木の安定供給に向けた苗木生産者への支援</li> <li>・森林整備面積の拡大を図る円滑な事業推進、造林補助制度の弾力的運用</li> <li>・林業専用道、森林作業道等の計画的整備 など</li> </ul>
<b>9 きのこ等特用林産物の生産振興</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高騰した生産資材の導入負担軽減、農産物安全認証制度の取得支援</li> <li>・県オリジナル品種の産地化推進、会津桐の振興 など</li> </ul>
<b>10 治山施設等の整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土強靱化3か年緊急対策後の継続した対策実施</li> <li>・山地治山対策や海岸防災林再生の推進 など</li> </ul>

福島県林業会議は、森林の有する多面的機能の発揮と林業の持続的かつ健全な発展に寄与することを目的に設立し、林業関係十団体で構成しています。

九月四日、令和三年度福島県予算

編成に対する県議会各会派による要望聴取会が開催され、当会議では森林・林業の再生なくして福島県の東日本大震災からの復興はないとの強い思いから、令和三年度からの「第二期復興・創生期間」において更に

**令和三年度  
福島県予算編成に対する要望聴取会**

福島県林業会議



福島県議会県民連合議員会



日本共産党福島県議会議員団



公明党福島県議会議員団

# 金沢地域里山再生プロジェクトについて

県南農林事務所

林業普及指導員 小野 武彦

## 1 はじめに

県森林環境基金事業を活用し、町と地域住民が協力しながら里山の再生と森林とのふれあい活動に取り組んでいる事例について紹介します。

## 2 取組内容

金沢地域は、矢祭町の中心部、矢祭町役場から北へ約5kmの場所にあります。

間伐などの森林整備が行われなかった山林を対象に、道路脇の樹木の整理と周辺の里山を再生するため、平成27年度に地域住民を中心とした実行委員会が発足され、活動に賛同した方々の協力を得て、森林整備の活動が開始されています。

実行委員会では、現地踏査と近隣の里山の視察研修を行い、区域内をゾーン分けし、遊歩道を配置する里山再生の計画を検討しました。当事務所普及指導員は、県森林環境基金事業を活用するに当たって、指導や助言を行っています。現地を測量調査した後、平面図等を作成し、針葉樹を広葉樹へ転換するための皆伐や混んだ広葉樹の間伐を行うとともに、発生材等を用いて四阿<sup>あずまや</sup>を設置し、遊歩道を整備しました。

整備された森林は、「来る里の杜」（くるりのもり）と名付けられました。『ふる里に帰って来たら、ここに来たくなるように愛される場所』になるようにとの地域の方々の想いが込められています。

現在は、実行委員会のメンバーが、町民の方々などに楽しんでもらえる里山づくりを目標に尽力されています。

「自分達の地域は自分たちの手で！」を合言葉に、暑さや寒さに負けず協力して知恵を出し合い、遊歩道の開設や、花木の植栽など毎年新たな取り組みを行っています。また、草刈りや施肥、遊歩道の補修など維持管理も定期的に行い景観づくりに努めています。



里山の再生整備（施工前）



里山の再生整備（施工後・現在）

## 3 今後に向けて

新型コロナウイルスへの感染予防のため、移動や人との接触が制約されています。

「来る里の杜」でも、感染予防対策を行いながら、町民中心の参加行事は予定どおり行っていますが、他県からの視察やイベント参加についてはお断りする方針を示しています。

自然観察会や植樹祭など森林を中心とした住民とイベント参加者がふれあう取り組みが制約なしで開催できる時が再び訪れることを願うばかりです。



来る里の杜

森林管理署メロ

# 会津森林管理署に おける現地検討会等の 取組



国民の森林・国有林

会津森林管理署

### ◎はじめに

会津森林管理署では、林業の成長産業化に向けた取組として、森林施業の低コスト化や伐採搬出における効率的な作業システムについて現地検討会を開催し、地域の林業関係者との情報交換を通じ民有林における普及と定着に努めています。

また、近年は山地災害が増加傾向にあることから、会津地域においても山地災害が発生する危険が高まっております。国・県・市町村が連携し災害対応するため、山地災害に関する検討会を開催しましたので紹介します。

### 1. 下刈現地検討会

林業に従事する人材が不足する中、森林を管理する下刈作業を省力化し、労働環境の改善につなげる目的で八月二十七日に喜多方市の国有林内で県や市町村の担当者等約五〇名に参加いただき開催しました。従前は植付け後毎年実施していた下刈作業を、現地の雑草の状況に応じて実施の省略を検討し回数の見直しを図



下刈現地検討会

ることとしており、昨年下刈作業を省略した箇所のスギ等の生育状況を確認し、下刈作業の省略による影響について意見を交換しました。

### 2. 生産性向上及び採材現地検討会

林業の成長産業化を図っていく上で、素材生産の生産性の向上及び需要を踏まえた木材の採材をすることが重要となつてきていることから、九月二四日に昭和村の国有林内で開催



生産性向上及び採材現地検討会

し、県、市町村の担当者及び素材生産業者・木材市場関係者等約六〇名に参加いただき、伐採、搬出過程における生産性向上のボトルネックの分析や有利販売につながる採材について検討を行いました。

### 3. 山地災害対応現地検討会

近年観測される短時間の大雨の発生回数は長期的に増加傾向にあり、会津地域においても昨年の台風十九号により最大二四時間降水量が過去最高を更新するなど山地災害が発生する危険が高まっていることから、九月十日に会津若松市内で県、市町村の担当者等約四〇名に参加いただき開催しました。山地災害発生時の対応や災害復旧時の工種・工法等について外部講師に講演いただくとともに、翌日十一日には大規模崩壊地における復旧工法等について現地検討会を実施しました。



山地災害対応現地検討会（現地）



山地災害対応現地検討会（座学）

東日本大震災から九年半が過ぎましたが震災復興も道半ばであり、特に今年については、新型コロナウイルス感染症の影響で建築用の丸太の需要が減少しており、材価も低迷する状況下、民有林・国有林が連携し林業の成長産業化に貢献できるように取り組んで参ります。

団体のページ

今年で四五回を迎える児童・生徒木工工作コンクールは子どもたちに木材に興味をもってもらい、木材の優れた特性やイメージを形にする喜びなどを伝えるため、県木材青壮年協会が毎年取り組んでいる事業です。今回の出展総数は二二校三七一点、そのうちの六六点が九月十一日（金）にいわき市いわき・ら・ら・ら・ら・らで行われた審査会での審査対象となりました。

コロナウイルスの影響で児童たちの夏休みが短縮したこともあり、去年と比べると出展数は少なかったのですが例年同様に充実した力作が多数出品されました。

最優秀賞知事賞に選ばれたいわき市立泉小学校二年生井上生暉君の「くものか



福島県知事賞「くものかり」



福島県知事賞「おじいちゃんの工場」

り」は、細い枝を使い細かな蜘蛛の巣を表現した作品です。いわき市立御厩小学校五年生志賀颯太君の「おじいちゃんの工場」は扉が動かせたり屋根が外れたりといった工夫がされた作品です。

入賞作品は九月十一日（土）、十三日（日）の二日間いわき・ら・ら・ら・ら・ら・らにおいて展示されました。十一月二十八日（土）には表彰式が行われるので三密には十分に配慮し開催する予定です。

木連だより

第45回福島県  
児童・生徒木工  
工作コンクール審査会



第45回福島県児童・生徒木工工作コンクール審査会入賞者名簿

賞	作品名	小学校名	学年	氏名	ふりがな	
最優秀賞	福島県知事賞 第1部	くものかり	2	井上 生暉	いのうえ いぶき	
	福島県知事賞 第2部	おじいちゃんの工場	5	志賀 颯太	しが そうた	
優秀賞	福島県教育委員会教育長賞 第1部	ALOHA	3	石井そよか	いしい そよか	
	福島県教育委員会教育長賞 第2部	流木の形から…	6	斎藤瑠生雅	さいとう るいが	
	関東森林管理局賞	りゅうぐうのつかい	5	田口 元音	たぐち ながと	
	いわき市長賞	カプトムシVSクワガタ	1	舟山凜太郎	ふなやま りんたろう	
	福島民報社長賞	フタバスズキリュウ	5	斎藤 悠汰	さいとう ゆうた	
	福島県木材協同組合連合会長賞	木を登るペットのイモリ	5	安西 凜真	あんざい りま	
	福島県林業会館理事長賞	木の公園	3	杉山 想空	すぎやま そら	
	NHK福島放送局長賞	トライホーン・ドラゴン	4	板倉 圭祐	いたくら けいすけ	
	ラジオ福島社長賞	どんな時でも変わる季節 夏~秋	6	山崎 奏音	やまざき かのん	
	福島テレビ社長賞	海で泳ぐタコ	6	長谷川琉星	はせがわ りゅうせい	
	福島県木材青壮年協会賞 第1部	つのがりっぱなトナカイ	1	渡部 樹	わたなべ いつき	
	福島県木材青壮年協会賞 第2部	クリスタルの鉱山	5	澤内 大和	さわうち やまと	
	入賞	福島県木材青壮年協会賞	ボタンの世界	4	松田 麗央	まつだ りお
			森の公園	2	遠藤 早姫	えんどう さき
とんぼ			1	舟生 亜心	ふにゆう あこ	
ダムめぐり			4	福島 悠太	ふくしま ゆうた	
ロジ親子の鳥の家			3	小林ひより	こばやし ひより	
でんせつのアマビエ			2	伊藤 愛理	いとう あいり	
ノコギリクワガタ			2	山下 晃季	やました こうき	
とんぼ			2	高橋孝太郎	たかはし こうたろう	
古い木の家			3	小見 憲輝	おみ けんき	
おだやかな秋			4	下坂 海翔	しもさか かいと	
縄文時代の家			5	佐藤 来龍	さとう くりゅう	
わりばしバイオリン			6	石橋 樹	いしばし たつき	

木の文化を育む⑬

「行きつけの杜」をひんむく〜(有限社「ダークチャ」)

郡山女子大学人間生活学科建築デザインコース 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

「福島県の荒れ果てた雑木林を楽園にしたい!」という想いからクラウドファンディングを活用して仲間を集め、三春町の雑木林にキャンプ場やツリーハウス等をつくる構想を描いている「有限会社ラビィダ」(郡山市)代表の渡部信一郎さんは、福島県の自然復興と老若男女の豊かな暮らしを目指して、継続的な活動を行っています。奥様の友紀さんはこの度、任意団体CLUB VIVOを立ち上げ「行きつけの杜」をつくる。う!と、定期的な植林活動や読書会、ワークショップなど、「行きつけの杜」をつくるための様々な企画を実施しています。

○「行きつけの杜」をつくる

三春の雑木林をワクワクする場所にするために、友紀さんは日本古来の手法で森を再生することに着目しています。造園設計の専門家の協力を得たり、「筑波山の水脈を守る会」(茨城県)の活動に加わり、森の中にあるものや炭を使用して水脈を整

備したり、「行きつけの杜」をつくるために、様々な準備を着実に進めています。

○自然環境の再生を考える

今の雑木林の状態がどのように変化するか、また、次世代にどう継承していくのかなど、未来の森を想像しながら「行きつけの杜」をつくれます。友紀さんは、「先人が培ってきた土木造作の中には、現代にはほとんど見られなくなってしまう技術や知恵があるので、自然の作用で地形が安定するよう循環し、調和するよう環境を目指したい。」と考えています。そのためには土中の環境に配慮する視点と技術が必要であることから、造園設計の専門家を招いて地中の状態を理解しながら、三三一本の植林作業を終えました。

○ダーチャでの生活

「ダーチャ」とは、旧ソ連圏で今も大半の世帯が郊外に所有している宿泊小屋付きの菜園用地です。子供たちも都会に居住しながら、郊外で豊かな自然の恵みに触れることがで

きます。また、ドイツでも「クラインガルテン」という集合型の市民農園が設立されており、市民のための緑地空間が考案されています。友紀さんは、「ダーチャ」や「クラインガルテン」のように、人々が週末などを利用して、一般家庭用の小さな畑で農作業を楽しんだり、子どもに教育に役立てたり、そして何よりも人々がいつでも戻ってこられる心の拠り所となる場所として、「行きつけの杜」をつくりたい!とフィールドへの想いを語って下さいました。

○定期的な杜の活動

三春VIVOの杜の活動は定期的に開催しており、植林やチェーンソー体験など、その日集まった人数でできることをコツコツ進めています。また、水脈と土中から気づく暮らし方読書会やVIVOの杜での実践ワークショップ、造園設計の専門家を招いての講演会など、この秋はたくさん企画が皆さんをお待ちしています。

ダーチャに興味のある方、「楽しい!幸せ!」を分かち合いたい方は、ぜひ「行きつけの杜」に足を運んでみませんか?

参加お申込みは、お電話かメール連絡をお願いいたします。

○二四一九五九一三三三三三  
info@david.co.jp



三春VIVOの杜 活動の様子

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(2020年7月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	7 (5~9)	△1	(0~0)		9 (9~9)		8 (5~9)
		10~14		並	スギ	11 (10~12)		(0~0)		11 (11~12)		11 (10~12)
	中	14~22	3.00	並	スギ	10 (9~11)	△1	14 (14~14)		11 (10~13)	△1	11 (9~14)
				並	ヒノキ	11 (10~13)	△1	(0~0)		14 (13~16)	△1	13 (10~16)
		20~28	6.00	並	スギ	15 (15~16)		10 (10~10)		17 (16~18)		15 (10~18)
				並	ヒノキ	24 (23~25)		(0~0)		22 (20~23)		23 (20~25)
			3.65	並	スギ	10 (9~12)		11 (10~12)		11 (10~13)		11 (9~13)
				並	スギ	9 (9~10)	△1	10 (10~10)		11 (10~13)		10 (9~13)
	4.00	並	アカマツ	9 (8~10)		(0~0)		8 (8~9)		9 (8~10)		
		並	アカマツ	6 (5~8)	△1	(0~0)		8 (8~8)		7 (5~8)		
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		30 (30~30)		30 (30~30)
				並	米マツ	28 (28~28)		30 (30~30)		28 (28~28)		29 (28~30)
28以下		3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		25 (25~25)		25 (25~25)	
			並	アカマツ	(0~0)		(0~0)		25 (25~25)		25 (25~25)	
4.00	並	カラマツ	(0~0)		(0~0)		25 (25~25)		25 (25~25)			
	並	カラマツ	(0~0)		(0~0)		25 (25~25)		25 (25~25)			
パルプ用材			並	マツ	7 (7~7)		(0~0)		7 (7~7)		7 (7~7)	
			並	広葉樹	10 (10~10)		(0~0)		(0~0)		10 (10~10)	

六月の原木市場への入荷量は、前月比六割増(前年比十一割減)の二二、二三七立方メートルとなっている。  
 販売量は、前月比五割増(前年比十四割減)の二二、〇三五立方メートルとなっている。  
 七月の価格は弱含みとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		7 (6~9)	
	13~14		並	カラマツ	(0~0)		8 (7~9)	
	16以上		並	カラマツ	(0~0)		10 (9~12)	

注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。  
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

鳥居の前に立つ。横にある標柱には、福島県指定天然記念物八坂神社の二本スギ、と記されている。この場所に間違いがないことを確認し、やや急な石段を進む。今が暑さの盛り、汗がとまらない。ここが神聖な場所であるからか暑さの中にも不思議と涼しさを感じる。歩くこと約十分。二本スギがある。  
 大きい。石段の両脇のスギ並木も大きいと感じたが、神社の山頂の二本スギは、更に大きい。それはそう



### 八坂神社の二本スギ

いわき農林事務所 菅原直樹

八坂神社の二本スギ。いわき市にある福島県緑の文化財のひとつ。「福島県緑の文化財」は、県民に親しまれ愛されてきた名木や鎮守の森等の緑の財産を保護、保全して、かけがえのない貴重なみどりを引き継ぐものとして、知事が指定、登録したものである。(平成三〇年十二月二八日現在五二八箇所登録)

いわき市遠野町、そこに八坂神社の二本スギがある。樹齢推定六〇〇年のこれらのスギは、神社の長い石段を登った先にあるという。

だろう。横に立つ案内板には、根回り九段、高さ二六メートルとある。六〇〇年もの間、この地で育った力強さを感じる。

自然、じねん。人が植えた人工林でも、ここまできると、自然と人工、その境界線がなくなり、おのずから歴史をもつ緑に触れると色々考えさせられる。

いわき市には多くの緑の文化財がある。朝早く目覚めた休日には名木や鎮守の森を巡る楽しみもある。



表紙の写真



「美しき秋」

第34回ふくしま緑の写真コンクール 銀賞  
受賞者 高橋直裕さん (福島市)  
撮影場所: 北塩原村

はなしの  
ひろば

五右衛門風呂

かつて、我が家にあった、たかが五右衛門風呂の話である。自宅を新築するまで我が家は、五右衛門風呂だった。父親が薪でお風呂を沸かしていたことや家族で一年分の薪作りをした思い出がある。

ところが、昭和五〇年、新築をきっかけに灯油風呂になった。が、灯油風呂は、体の芯から温まらない、という理由で、父親は、家の外に自力で小屋を建て、五右衛門風呂を設置してしまったのだ。父親にとっては、スッチひとつで沸くお風呂と薪をくべて沸かすお風呂の手間暇だけの問題ではなかったようだ。その内、家族もまた、理由はそれぞれにあつて、気がついたら五右衛門風呂に逆戻りをしていた。灯油風呂は、温度の設定ができるのだが、季節ごとに違う湯加減は、父の経験値からくる薪のくべ方だった、とその当時、改めて実感した。

今、思えば、父は、薪作りの家族の協力体制や間伐材を燃料に再利用することも考え合わせてのことだったに違いない。

今年は、十月一日が十五夜。あの風呂小屋の窓から眺めた秋の月は、過不足なく澄んだ夜空にとてもきれいだ。今でも忘れてはいない。

もうすでに、両親は他界し、現在我が家は、エコ給湯のユニットバスになった。湯に浸かって目を閉じ、コオロギの声を聴きながら(季節もここまで巡ってきたのか...)と、ふと、自分の歳も重ね、聴きいつた一日の終わりである。(都)

編集

発行人

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業協同組合  
ふくしま緑の森づくり公社  
森林研究整備機構福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
(福島市中町五番一八号県林業会館内)  
発行人 行  
陽光社印刷株式会社  
(定価 一〇〇円)

お知らせコーナー

令和2年度ふくしまの未来を育む 森と住まいのポイント事業

の申請を受け付けています。 先着順 最大240棟

福島県産木材や森林認証材を使用して住宅を建設(新築・増改築・購入)する建築主に、県の登録商品と交換できるポイント(1ポイント1円相当)を交付します。



森林認証材とは

森林認証制度に基づき、独立した第三者機関により適切な森林経営が行われていると認証された、県内の森林から生産された木材です。持続可能な森林経営に貢献する環境・社会・経済に優しい木材です。

〈申請の期間〉 令和2年7月1日(水)から令和3年2月26日(金)まで

〈交換商品〉

- 福島県産品(農林水産品・加工食品・木材製品・工芸品・その他)
- 商品券(全国型・地域型)

住宅の新築や増改築などを検討されている方へ

最大40万円分相当のポイントをプレゼント

福島県産木材を使うと	一般向け	被災者・避難対象者 県外移住者・子育て世帯
	20万ポイント	30万ポイント
さらに森林認証材を使うと	10万ポイント加算	10万ポイント加算
	30万ポイント	40万ポイント

ペレット・薪ストーブ購入設置に5万円を助成します!

福島県木材協同組合連合会では、ペレットストーブ、薪ストーブの購入費用の助成希望者を募集しています。

〈補助額・台数〉 ペレット・薪ストーブ1台に5万円、補助台数100台

○薪ストーブは、二次燃焼構造を有するものに限りです。

○申請が補助台数を上回った場合は、抽選により決定する場合があります。

〈募集期間〉 令和2年6月1日(月)から令和3年2月26日(金)まで

○期間内でも補助台数に達した日で募集を締め切ります。

〈申請資格〉 住所・居住地や主な活動地、使用場所等の要件があります。

問い合わせ  
申請窓口

福島県木材協同組合連合会 TEL 024-523-3307  
詳しくはホームページ(<http://www.fmokuren.jp/>)をご覧ください

福島県木連

検索

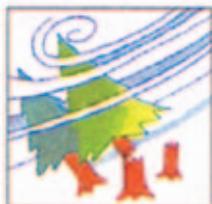
# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



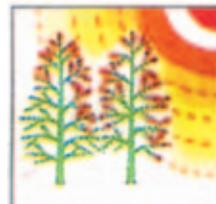
## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)  
または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ

## GP-35B グラップルプロセッサ

IWAFUJI  
INDUSTRIAL CO., LTD.



### 傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

### 最新の GP-8 コントローラを搭載

- ・5.7 インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
- ・感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
- ・A,B,C,D の 4 コード毎に 4 種類、合計 16 種類の測長設定値
- ・樹種を 4 種類登録でき、個別に測長調整値の設定が可能
- ・材積集計機能を標準で搭載



### 新開発のスタッドローラ (オプション)

- ・鉄輪の全周に装着された無数のスタッド(鋌)が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
- ・特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンスが容易



For the future with forest



イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



( 南東北支店 ) 福島県郡山市八山田 5-314  
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168  
( 本社・工場 ) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1  
( 支 店 ) 札幌・東北・南東北・関東・中部・関西・中四国・九州

レインボー薬品の薬剤と資材

# 緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

## 松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤  
スミパインMC  
マツグリーン液剤2  
グリーンガード・NEO

## くん蒸剤

ヤシマNCS

## ハチ退治

ハチノックL (巢処理用スプレー)  
ハチノックS (携帯用スプレー)

## くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シートハイバリア

## 新商品

猪レスSTOPテープ

ヒルノックWスプレー

ヒルノックW



レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野1-19-10 お問い合わせ TEL. 03(6740)7777 平日 9:00~17:00 (土日祝日は休み)



## 人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC  
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW

For Professional



GZ3950EZ  
排気量 39.1cc

GZ4350EZ  
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

# (有) うねめ 林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚 108-1